

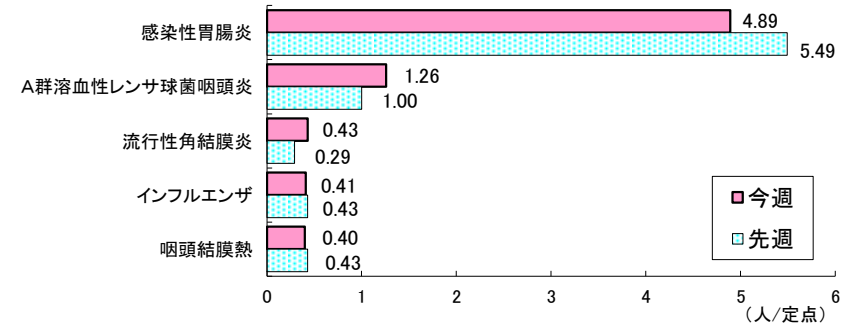


**【第22週の発生動向】**

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. 感染性胃腸炎は、県全体で11%減少しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、由利本荘、大仙で増加、大館、北秋田、能代、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で26%増加しています。保健所別では、大館、北秋田、能代、秋田中央、由利本荘、横手、湯沢で増加、秋田市、大仙で減少しています。
3. 流行性角結膜炎は、県全体で48%増加しています。保健所別では、報告のあった全ての保健所で増加しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



**発生報告**

＜五類定点対象疾患(週報)＞

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減			
RSウイルス感染症	0.20	0.34	↗	0.71	0.86	↗	0.25		↘				0.33		↘					1.50	↗									
インフルエンザ	0.43	0.41	↘	0.45	0.82	↗	1.43	1.86	↗							0.33		↘				0.14		↘	0.40		↘	0.60		↘
咽頭結膜熱	0.43	0.40	↘	0.43	1.00	↗		0.25	↗	0.50		↘	0.33	0.33		0.25	0.25		1.00	0.50	↘	0.50	0.25	↘				0.75	0.25	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.26	↗	1.86	1.43	↘	0.25	0.50	↗		0.50	↗		0.67	↗	1.75	2.75	↗		0.50	↗	0.75	0.50	↘	0.67	1.33	↗	2.25	2.50	↗
感染性胃腸炎	5.49	4.89	↘	8.29	9.00	↗	17.75	11.00	↘	3.50	1.00	↘	4.00	3.33	↘	1.50	2.75	↗	0.75	2.25	↗	1.75	2.00	↗	3.67	2.67	↘	4.25	4.00	↘
水痘	0.23	0.11	↘	0.71		↘		0.50	↗	0.50		↘		0.67	↗										0.67		↘			
手足口病		0.03	↗					0.25	↗																					
伝染性紅斑		0.03	↗																							0.33	↗			
突発性発しん	0.29	0.23	↘	0.71	0.14	↘		0.75	↗	0.50	2.00	↗	0.33		↘	0.25		↘							0.67		↘			
ヘルパンギーナ	0.03		↘																			0.25		↘						
流行性耳下腺炎		0.11	↗		0.14	↗		0.50	↗		0.50	↗																		
川崎病		0.03	↗																						0.33	↗				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎	0.29	0.43	↗	0.67	1.00	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	1.00	0.88	↘							5.00	2.00	↘		1.00	↗	*	*					1.00	1.00					2.00	3.00	↗
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.75	0.25	↘					6.00	2.00	↘						*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。  
 「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、大館保健所管内から1人、能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のつつが虫病が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の水痘(入院例に限る。)が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-21週		22週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	8204	43	3
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
三類	コレラ		2	
	細菌性赤痢		73	
	腸管出血性大腸菌感染症		464	
	腸チフス		18	
	バラチフス		9	
四類	E型肝炎	160		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	331		
	エキノкокクス症	4		
	黄熱			
	オウム病	3		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサヌル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	24		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

トピックス

<腸管出血性大腸菌にご注意を！>

2018年は第22週現在、秋田県内で腸管出血性大腸菌感染症の発生報告はありませんが、例年6月以降に報告が増えはじめ、8月から9月にかけてピークとなる傾向にあります(図)。

■腸管出血性大腸菌とは

- ・ベロ毒素を産生する大腸菌です。
- ・潜伏期間: 4～8日
- ・症状: 下痢と激しい腹痛、時に血便(出血性大腸炎)が起こります。患者の一部では腎不全を伴う溶血性尿毒症候群や脳症といった重い合併症を併発する場合があります。特に、小児や高齢者は重症化のリスクが高いとされています。
- ・感染経路: 牛などの反すう動物の腸管内に常在しているので、保菌動物の飼育環境にある水・土壌による汚染や、と畜処理過程における汚染の可能性等があります。そのため様々な飲食物が感染源となる危険性があります。

<予防のポイント>

- 生で食べる野菜類は、よく洗ってから食べましょう。
- 腸管出血性大腸菌は熱に弱く、75℃1分以上の加熱で死滅します。食肉等の調理にあたっては、中心部まで十分に加熱しましょう。
- 生肉を扱った調理器具は熱湯等で消毒しましょう。生肉から他の食品が汚染されることを防ぐため、生肉と他の食材を扱う調理器具は別にするといった対策も有効です。
- 汚染された井戸水が感染源となる場合もあります。消毒されていない生水の飲用は避けましょう。
- 手洗いの徹底など、基本的な感染予防対策を励行しましょう。

類型	疾患名	1週-21週		22週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	70	1	1
	デング熱	49		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	48		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	フルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	2		
	マラリア	17		
	野兔病			
	ライム病			
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	1			
レジオネラ症	487	1		
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
五類	ア메ーバ赤痢	320		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	74	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	634	3	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	6		
	急性脳炎	327	3	
	クリプトスポリジウム症	7		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	82		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	333	4	
	後天性免疫不全症候群	478		
	ジアルジア症	32		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	198	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	17		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1723	10	
	水痘(入院例に限る。)	159	4	1
	先天性風しん症候群			
	梅毒	2444	3	
	播種性クリプトкокクス症	70		
	破傷風	37		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	21		
百日咳	1739	15	1	
風しん	32			
麻しん	164			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	8			

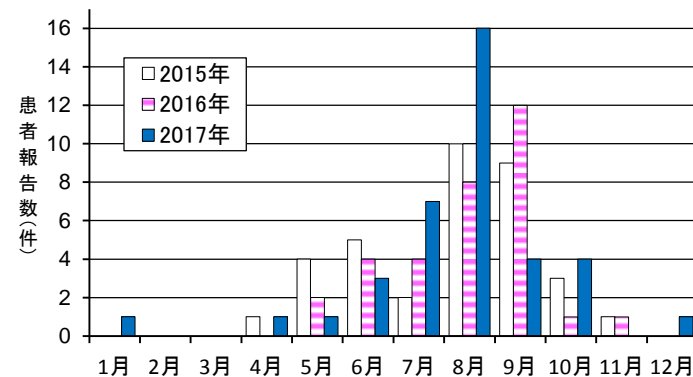


図 秋田県における腸管出血性大腸菌感染症の報告数



## 今シーズン(2017/2018年)のインフルエンザ流行状況について

○厚生労働省のインフルエンザ情報に関する定期的な公表は、第19週(5月7日～5月13日)をもって終了しました。

○秋田県では、2017年第49週(12月4日～12月10日)に定点あたり報告数が1.54となり、流行の目安となる1を超え、今シーズンの流行入りが確認されました。昭和56年の調査開始以降、3番目に早い流行期入りとなりました。

○その後、流行は徐々に拡大し、2018年第5週(1月29日～2月4日)に定点あたり報告数が44.46となり、今シーズンのピークを迎えました(図1)。

○第6週(2月5日～2月11日)以降は減少し始め、第9週(2月26日～3月4日)に再度増加したものの順調に減少し、第21週(5月21日～5月27日)には0.43となり、定点あたり1を下回り今シーズンの流行は終息しました。

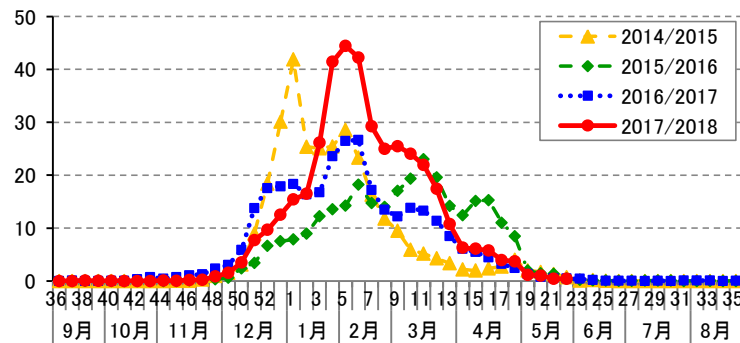


図1 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

○インフルエンザによる入院患者については、秋田県内8カ所の基幹定点医療機関から400人の報告がありました。うち2人はICU入室となり、4人は人工呼吸器を必要としました。

○年齢別にみると、昨シーズンは60歳以上が52%と半数を占めていましたが、今シーズンは1～9歳と60歳以上が同程度となりました(図2)。

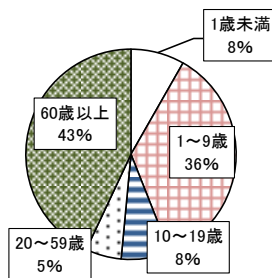


図2 秋田県におけるインフルエンザによる入院患者の年齢階級別割合

○インフルエンザ様疾患集団発生(集団かぜ)報告によると、2018年第22週までに累計474の学校等で休業措置(休校・休園20、学年閉鎖256、学級閉鎖198)がとられ、昨シーズン(累計施設数300)より約58%多い状況でした。

○報告数は1月中旬以降から増加し、第6週には最も多い86件が報告されました(図3)。その後、春休み等の影響により報告数は減少しましたが、新年度が始まって第16週(4月16日～4月22日)に一時的に報告数の増加が見られました。

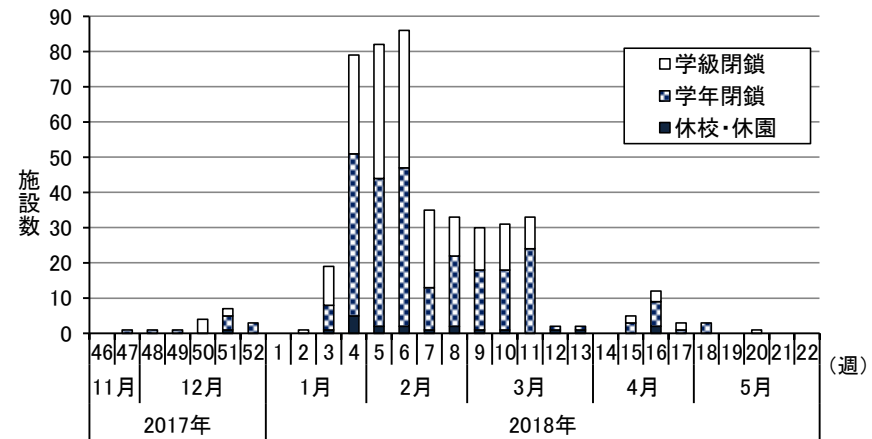


図3 2017/2018シーズンにおける秋田県内からのインフルエンザ様疾患集団発生(集団かぜ)報告数(474校)

今シーズンのインフルエンザ発生状況に関する詳細報告は、今週号をもって終了いたします。社会福祉施設等における集団発生等が報告された場合は、今後も随時、本週報内で報告していきます。



感染性胃腸炎情報

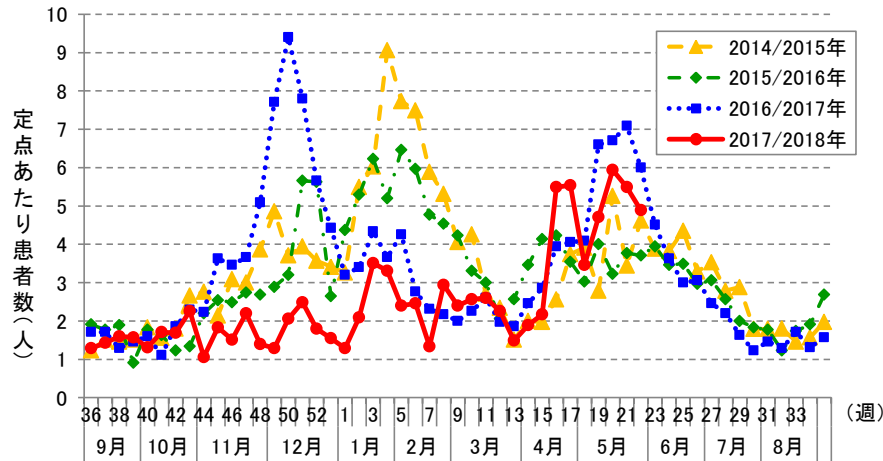


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

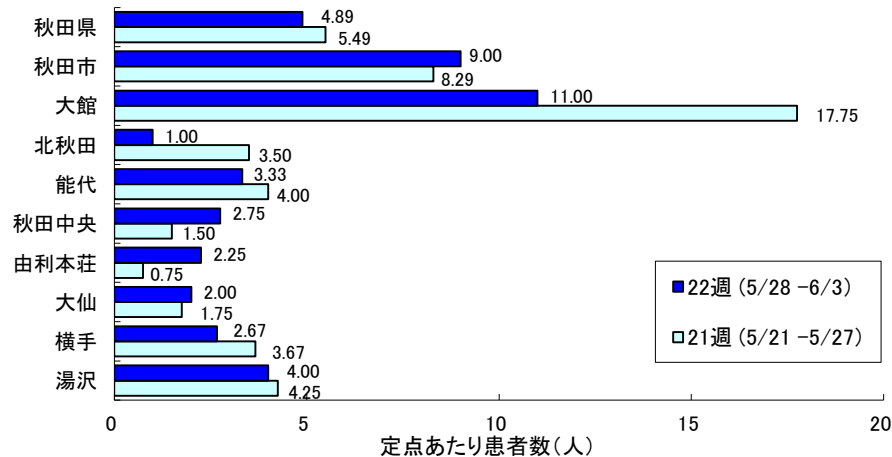


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が2件ありました。

No. 18

発生届出日 平成30年5月30日  
 受付保健所 秋田市保健所  
 施設名称 ふじ保育園  
 有症者数 園児129名のうち16名  
 職員31名のうち2名 計18名  
 把握期間 5月25日から5月30日まで  
 症状 嘔吐、下痢、発熱

No. 19

発生届出日 平成30年5月31日  
 受付保健所 大館保健所  
 施設名称 大館乳児保育園  
 有症者数 園児66名のうち12名  
 把握期間 5月23日から5月31日まで  
 症状 嘔吐、下痢、発熱

★感染性胃腸炎の集団発生状況

平成30年度 19施設 発症者 293名  
 <保育所・幼稚園19>

【参考】

平成29年度 42施設 発症者 637名

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

感染症の集団発生報告

ヒトメタニューモウイルス感染症の集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年5月31日  
 受付保健所 横手保健所  
 施設名称 雄物川保育園  
 有症者数 園児93名のうち16名  
 把握期間 5月28日から5月31日まで



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。  
 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	4	7	4	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		